

### 危険性を予告

ハンガリ - 人の物理学者オシラドは、ドイツ人のオット - ・ハ - ンが核分裂反応に成功したことを知って危惧を抱いた。それはハンガリ - が当時ナチスドイツの支配下であり、ヒットラ - の狂気性を身をもって体験していたから、もしヒットラ - が原爆の威力に気付く、開発を命じたら、ドイツが世界初の原子爆弾を持つことになり、ナチスドイツが世界は征服してしまうかも知れない、という恐怖であった。

そこで、世界的な科学者アインシュタイン博士の名をかりて、アメリカ合衆国大統領に原子爆弾を開発して、ナチスドイツの暴走を防いで欲しいと懇願した。

また、ナチスのユダヤ人狩りが激化し、アウシュビツに代表される収容所に送り、ガス室で殺害し、その犠牲者 600 万 ~ 700 万人といわれ、1 日でも速くユダヤ人を救うのには、原爆を開発してナチスドイツを壊滅させなければならない、と在米ユダヤ系物理学者が結束して大統領に陳情した。さらにドイツ、日本も核開発に着手しており、もし先に原爆を開発したら、連合国側は滅亡してしまう、との恐怖を陳情した。

### アメリカが唯一国家プロジェクトとして開発に着手

ル - ズベルト大統領は、当初はあまり気乗りしなかったようだが、アインシュタイン博士や著名なユダヤ系学者の陳情があり、かつ著名なユダヤ系議員、金融界を支配するユダヤ系の人達の圧力もあり、1942 年 6 月、ル - ズベルト大統領は国家プロジェクトにゴ - サインをだした。

目的は原子爆弾開発「マンハッタン計画」と命名され、総責任者は、リチャ - ド・グロ - ブス准将、開発責任者は、ユダヤ系の物理学者オッペン・ハイマ - 博士、研究施設は秘密裏にニュー - メキシコ州のロスアラモスにおかれ、その他各地に研究所がおかれ、第一級の科学者が 4 年間で延べ約 5 万人集められ研究開発に従事した。

その中には、最初に原子の灯をともしたシカゴ大のフェルミをはじめ、後にノイマン型コンピュータ - を提唱した、ジョンフォン・ノイマン、天才児リチャ - ド・ファイマン等後にノベ - ル賞に輝く逸材ばかりが集められた。

投下された資金は約 20 億円、現在の貨幣で約 2 兆円、そしてやっと完成したのは、1945 年 7 月 17 日、ついに 2 個の原爆を完成、しかし、既にドイツは破れ、ヒットラは自決していた。

戦う能力も、気力も消え失せていたが、未だポツダム宣言受諾を躊躇っていた日本が標的になって、そのうちの 1 個は広島に投下されたリトルボ - イ、もう 1 個は長崎に投下されたファットマンであった。

### ドイツ、日本でも核分裂研究に着手

核分裂に着目、マッチ箱の大きさの 1 ケの爆弾で戦艦 1 隻を葬ることができる夢のような強力な兵器と喧伝され、それぞれ独自の方法で研究・開発に着手したが、結局はウラン原料の入手困難、膨大な開発費用負担、大電力を必要とし、さらにドイツではヒットラ - をはじめとするナチス幹部は科学にはあまり興味なく、原爆開発を理解していなかったため、開発資金を出し渋った。

我国も同様で、陸軍、海軍別々に開発に着手したが、国外からのウランの入手に苦勞し、資金難でも行き詰まり、また軍部が核兵器開発の研究に着手したことを聞いた昭和天皇は、「大和民族が世界初の核兵器を使用することは絶対に許さない。直ちに研究を中止しな